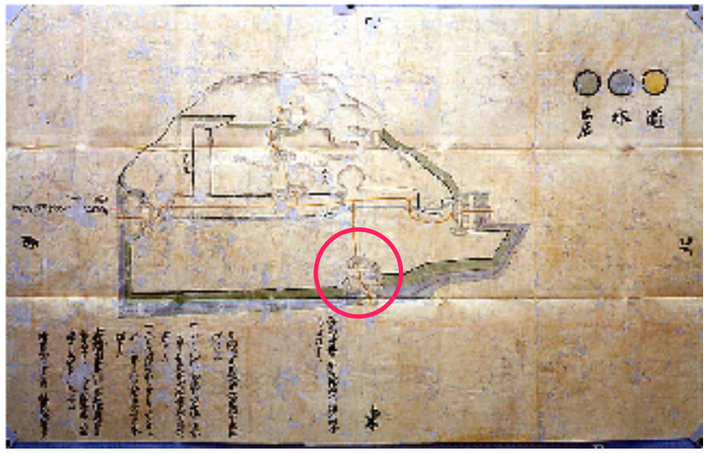
城踏 SHIRO FUMI

姫路市立城郭研究室ニュース「城踏」No.47　2003年８月１日
編集・発行；姫路市立城郭研究室
〒670-0012　姫路市本町68-258　日本城郭研究ｾﾝﾀｰ内
TEL　0792-89-4877　FAX　0792-89-4890
URL　http://www.city.himeji.hyogo.jp/jyokakuken/

名前をかえるとき



以前、沼田城でも紹介したとおり、姫路酒井家文書の中には、他国の城郭図が数点含まれています。沼田城の場合は真田家改易にあたり酒井家が同城を受取ったことに由来する絵図と考えられるものでした。これは例外として、酒井家文書に含まれる他の城郭図はほとんどが修補絵図で、これらは酒井氏が老中在任時の公務に関係するものと考えられます（『城郭研究室年報』Vol.９、2000の白峰論文およびグラビア参照）。

本号で紹介するのは、日向国高鍋城です。上図は、延享2（1745）年に提出された扣絵図です。絵図としては非常に稚拙な感じがするものです。修理該当箇所は現在地元で「城堀」と称されている水堀の浚渫と、南にある蓑崎門の石垣の2箇所だけが示されています。

ところで、高鍋城はどんな城であるかを少し探ってみましょう。

『高鍋城』（高鍋町の文化財第二集、高鍋町教育委員会、1986）によると、豊臣秀吉の九州征伐で筑前秋月から日向国に移された秋月氏が慶長９年から明治まで居城とました。上杉鷹山がこの秋月氏出身であることはよく知られています。地名はもともと「財部（たからべ）」だったのを延宝元（1673）年に三代種信が「高鍋（たかなべ）」と正式に改名させたとされますが、天正15年の秀吉朱印状では「高鍋城」となっています。

現在城跡は舞鶴公園となっています（下左）。大手門から内側が武家地で（上図の○が大手門）、現在は高校の敷地などになっています。武家地と城下を隔てていたのが「城堀」（下右）で、いまも一部が整備されて残っています。

高鍋は土持氏の城がもともとあったと言われています。その後、伊東氏や島津氏の治下となり、天正15年に秋月氏が封ぜられました。中世の城郭から近世のそれへと変遷したことが考えられます（宮崎県埋蔵文化財センター『高鍋城跡』1997）。

城跡は秋月氏の近世城郭としての姿で残っていますが、頂上付近、すなわち二の丸跡の西側には秋月氏以前の城の中心部が残っています（『宮崎県中近世城館跡緊急分布調査報告書Ⅱ』1999）。

二の丸跡には町総合歴史資料館が建っています。岩坂門跡から石段を登ったところが本丸でそこに御殿がありました（下写真）。御殿は本丸の平面に規定されたためか直線的に部屋が並ぶ建物で、玄関、広間、書院が南北に一直線で並び、その突き当たりが湯殿と座敷で、そこから90°近く西に棟が振って台所や女中らの部屋があったようです。奥御殿は現在の護国神社のあたりとされています。

前頁の修復図では、城堀から本丸と見られる曲輪までが描かれています。作事に関する情報は門くらいで、その他の御殿などは一切描かれていません。普請に関する修復図という性格によるのでしょうか。

本丸の西には児童遊園地があります。ここは尾根上に造成された曲輪で、敷地の西縁に土塁が巡っています。この曲輪の北側には、高石垣が残っています（右写真）。石はほぼ同じ大きさの石で、表面がきれいに調整されたもので積まれています。石垣の上の曲輪は詰の丸で、慶長14年、ここに三重櫓が築かれたとされています。そうだとすれば秋月氏による造作ということになり、この高石垣は三重櫓の建築にともなって築造された可能性があります（発掘調査では櫓の存在を示す明確な証拠は見つかっていません）。また秋月氏は同12年、城の西側に「野首の堀切」と呼ばれている大きな空堀を掘っています（前掲『高鍋城』）。同城は西から東に延びる台地の東端に築かれているので、台地続き（西側）からの攻撃に対処するための処置であるとみられます。移封当初は、それまでの城をうまく改修して利用しようとしていたのかもしれません。伊東氏と島津氏の角逐場となった日向南部では、この期に及んでも中世来の緊張感が漂っていたのでしょうか。地域史の中に近世城郭を位置づけて見ることも必要でしょう。一方、大手門や二の丸、城堀の整備が寛文期以降に行われたのは御家騒動が収束して藩主となった種信であることからすれば「財部」から「高鍋」への改名は、秋月家の近世化を象徴しているともいえそうです。城郭もそれに相応しいものにする必要があったのでしょう。

ところで、前述の高石垣は「天守台」とも呼ばれているとのこと。城の最高所ではないし、太鼓櫓跡の方が「天守台」より高い場所にあります。当たり前のようですが、天守には「天守台」があるということのようです。

舞鶴神社社務所に隣接する千歳亭では、冷汁定食や油味噌定食、ぜんざいなどの食事をとることができます。